

ケボニー 128 幅キャラクター外壁材 75° シップラップ施工ガイド

1. はじめに

この施工ガイドは、ケボニー外壁材が良好な状態を維持するための施工方法をご案内しています。必ず、建築基準法などの法規に従って、専門的な知識や技能を持った施術者により施工してください。

製品の品質改善などのため、本施工ガイドは予告なしに改定する場合がありますので予めご了承ください。

使用上の注意

- ・ ビスや釘、接する金属製品の種類によるケボニー木材ならびに金属製品の変色。
- ・ 紫外線や雨の当たり方によるケボニー木材の変色、変化の程度の差。

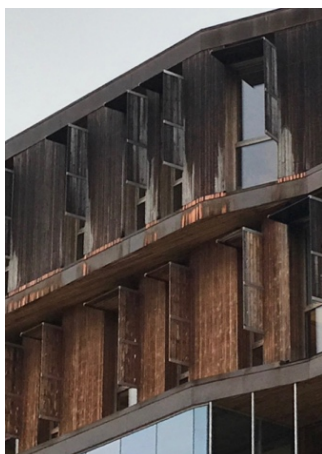
2. 使用するビス、釘、その他金属製品と接する場合の留意点

ケボニー外壁材の取り付けは原則として耐酸性の **SUS316(A4)** または SUS304(A2) 製のステンレス製ビスまたは釘をご使用ください。他のタイプのビスや釘を使うと、取り付け部分の周辺に、黒ずみなど変色がおこる原因となりますので使用しないでください。(SUS304(A2)製のビスや釘、色や耐久性をあげるためのコーティングがされたビスや釘などを使用した場合も変色することがありますので、必ず製造元にお問い合わせの上ご使用ください。)

次に、ケボニー木材が接したり、ケボニー木材にかかった水がその他金属製品に流れ落ちる場合、**亜鉛メッキ製品** は変色したり白錆が発生したりする場合があります（水分が滞留せず、通気がしやすいなど適切な対応により白錆による腐食は進行しません。）。また、銅板は酸化により青銅色化したものが、流水が触れた部分のみ元の輝いた銅色に戻ります。ステンレス、耐酸性鉄鋼、エナメルメッキ、エナメル塗装、アルミニウムでは、変色や腐食は発生しません。また、亜鉛メッキや鉄製品などから水がケボニー外壁材へ流れる場合、**黒シミの原因**となる恐れがあります。



亜鉛メッキ製品表面に発生した白錆



変色した銅製品



発生したビス周りの黒ずみ

3. ケボニー外壁材の色の変化・表面塗装に関する留意点

- ・ ケボニー木材製品は出荷時茶褐色ですが、紫外線や雨にさらされるとシルバーグレーへ変色していきます。軒の出方や場所による日当たり、雨がかりの程度により色変化にバラツキが発生します。
- ・ ケボニー木材には耐久性をあげ、表面劣化を防ぐための表面塗装は必要ありません。
- ・ 元の茶褐色の色を保持したい場合は、紫外線をカットできる塗料を使用してください。
- ・ 表面の色を変えたい場合は、オイル系の木材用の着色塗料を使用することができます。（塗装をしてしまうと、塗装色を維持するためには定期的な塗り替えが必要になることにご注意ください。）
- ・ 出荷時に見られるフラン樹脂による黒じみや搬送時にできる白っぽい擦り跡などは経年とともに目立たなくなります。（色のばらつきなどを避けるために取り付け前に紫外線などに当てシルバーグレーに変色させる方法もあります）
- ・ ケボニー外壁材の特徴として高い紫外線劣化に対する耐性があります。木材細胞壁の中で固まったフラン樹脂が紫外線によるリグニンの分解を抑制します。この働きにより水を吸収しにくくなり経年劣化が進行しません。

4. 切断部の処理について

- ・ ケボニーキャラクター材は外壁の形状加工後にフラン樹脂化処理をした製品です。木材外周部のみフラン樹脂化できていますが、中心部は処理されていないため、製品の2次加工はお勧めしておりません。長さを切ることはできます。
- ・ ケボニーキャラクター材の切断面には、防腐・防蟻剤を塗布してください。塗布の量、方法は防腐剤メーカーの取扱説明書をご参照ください。
- ・ 木口の含水率の偏りを最小限にし、材の木口割れを防ぐには撥水性の塗装などの処理をしてください。

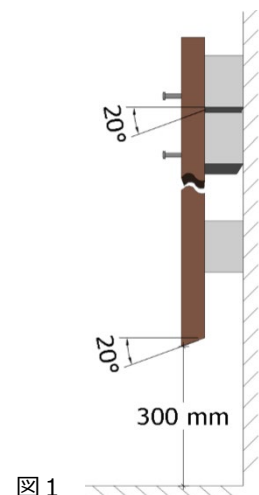
5. ケボニー材料の保管・他

- ・ 施工まではカバーをして乾燥した状態で施工現場付近に保管してください。（カバーをしていないと、紫外線などによって変色が進み、色むらが発生する場合があります。）
- ・ 施工直後ケボニー木材にかかった雨などからの流水が茶褐色になることがありますが、これは加工時の細かな木粉によるものでフラン樹脂化成分が溶脱したものではありません。
- ・ 稀に製品表面にフラン樹脂そのものが固まり染み付いている場合がございますが、紫外線にあたり周りの色と同化していきます。

6. 施工ガイド

通気と水はけ

- ・ 空気が下から上に循環するように下部と上部に開口部を設けてください。通気が確保されることでケボニー外壁材は雨が当たっても早めに乾燥した状態に戻ります。
- ・ 水が滞留する場所をなくすようにしてください。ケボニー外壁材を笠置や天板など、水平に使ったり、縦張り用の材料を横張りなどには使用しないでください。
- ・ 縦張りの外壁の場合、継ぎ手部分は、各々の端を20°以上の角度をつけてカットし、スカーフジョイントとしてください。



- 材は必ず地面から 300mm 以上離れるようにしてください。水切りをよくするため端部はすべて 20°以上角度をつけてください。(図 1)

取付方

● 胴縁について

- ケボニー外壁材は、必ずケボニー外壁材と同等以上の耐久性を持つ胴縁素材に取り付けてください。
- ケボニー外壁材の縦張り（横胴縁）の場合、上下の通気を確保した上で、**横胴縁の間隔は最大 455mm**、横張りの**縦胴縁の間隔は最大 500mm**としてください。
- ケボニー外壁材は全ての胴縁ごとにビスまたは釘で固定してください。
- エンドマッチなしで材を突き合わせる際は、2 本とも継ぎ手の端部を胴縁に固定してください。

● ビス留めについて

- ケボニー外壁材は原則として耐酸性の **SUS316(A4)**または SUS304(A2)製のステンレス製ビスまたは釘により下地の胴縁に取り付けてください。
- ケボニーキャラクター外壁材は、**セルフドリルタイプビス（スクリュー釘）**を使用してください。そしてビス打ち時の割れを防ぐため**下穴をあけて**、ビスは板の端から **15 mm 以上離れた部位**に打ってください。
- ビスは深くもみこまず、板の表面とビス頭が同一面になるように固定してください。
- 釘や保持力の弱いフィニッシュネイルで取り付ける場合は、十分な保持力を持たせるようにして施工してください。その場合、釘は板厚の 3 倍程度の長さのものを使用し、胴縁材は釘が突き抜けずに固定できるような厚みが必要になります。例えば 21mm 厚のキャラクター材の場合、釘は 63mm 以下、胴縁は 42mm 以下のものを使用した場合外壁材の保持力が弱まる可能性があります。
- 釘打ち機を使う場合は、傷がつかないように仕上げ材用ノーズトップなどの先端アダプターをご使用ください。

● 材と材の隙間について

- ケボニー木材は未処理材に比べ平衡含水率が低く寸法安定性に優れていますが、製造工程で乾燥している為、屋外に施工されたのち最初の雨で材は多少膨張する場合があります。材を突き合わせることは避けてください。割付の際は板と板の間、他の部材と突合わせる箇所において **2~4 mm のクリアランス**を設けた上で施工してください。(図 2)

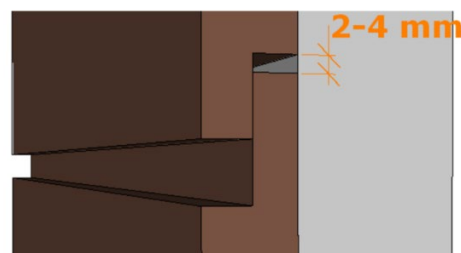


図 2

シップラップ材の取付方

- ・ シップラップ材は胴縁ごとにビスを1本打ってください。
- ・ 重なる下の板をしっかりと抑えるため、材は下端から板幅の1/3を目安にビス打ちしてください。(図3)
- ・ **相じやくりの実の重ね部分に釘を打たない**てください。
- ・ 75°シップラップ材についてはクリアランスをあけるスペーサー治具を有償にてご用意致しておりますので、必要な場合はお申し付けください。

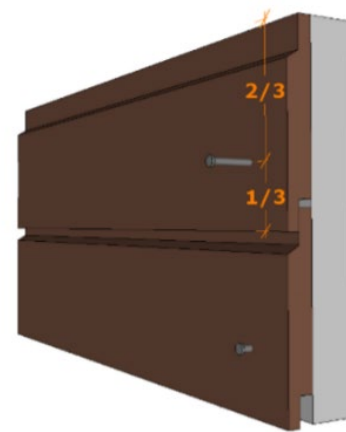


図3



NISSIN EX.

株式会社 ニッシンイクス

www.nissin-ex.co.jp

| | | | | |
|-----------|--------------------------------|-----------|------------------|------------------|
| 本 社 | 山口県周南市鼓海 2-118-63 | 〒745-0814 | TEL 0834-36-1700 | FAX 0834-36-1711 |
| 東 京 支 店 | 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 5F | 〒107-0052 | TEL 03-5573-9177 | FAX 03-5573-9179 |
| 南青山ショールーム | 東京都港区南青山 3-4-6 AOYAMA346 201 号 | 〒107-0062 | TEL 03-3475-3400 | FAX 03-3475-3402 |
| 仙 台 事 務 所 | 宮城県仙台市青葉区中央 4-7-17 ベルザ仙台 401 | 〒980-0021 | TEL 022-796-6011 | FAX 022-796-6012 |
| 名古屋事務所 | 愛知県名古屋市中区錦 1-18-24 いちご伏見ビル 5F | 〒460-0003 | TEL 052-265-5201 | FAX 052-265-5202 |
| 大 阪 事 務 所 | 大阪府大阪市中央区南船場 3-8-7 三栄ムアビル 503 | 〒542-0081 | TEL 06-4708-4711 | FAX 06-4708-4722 |
| 福 岡 事 務 所 | 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-16-8 IT ビル 4F | 〒812-0013 | TEL 092-409-2410 | FAX 092-474-7002 |